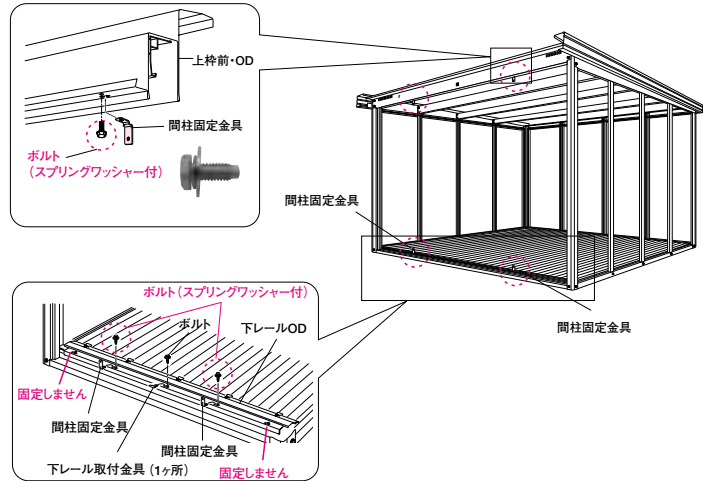


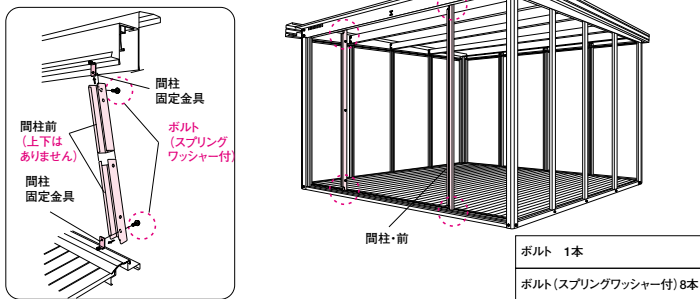
10 間柱前の組立

注意 内のボルトはボルト(スプリングワッシャー付)を使用してください。

①上枠前・OD、下レール・OD(工程⑤で固定しなかった箇所)に間柱固定金具と下レール取付金具をボルト止めします。

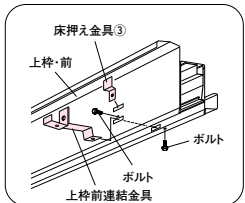


②間柱前の上側を先に入れ、次に下側を入れて両端をボルト止めします。



11 上枠前連結金具の取付け

①上枠前連結金具を上枠・前の中央に差し込み、床押え金具③とボルトで固定します。

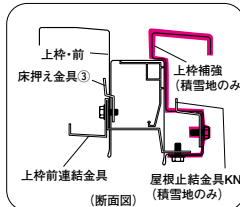
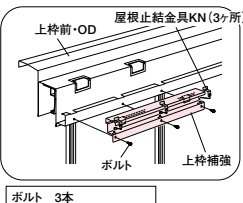


注意 積雪型の場合は、上枠前連結金具と上枠補強と一緒にボルト止めします。(組立説明書⑬)

ボルト 2本

12 上枠補強の取付け(積雪型のみ)

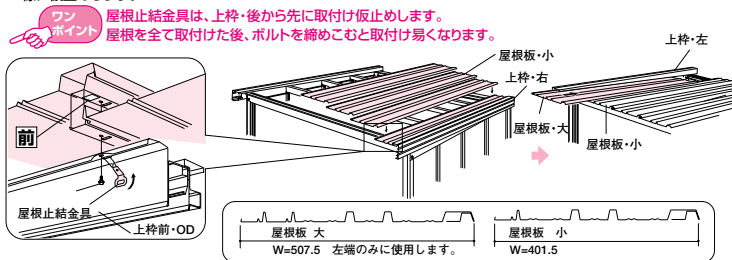
①上枠補強を屋根止結金具KNとボルトで固定します。



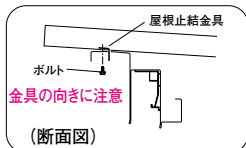
ボルト 3本

13 屋根板の取付け

①屋根板は、物置に向かって右端から屋根板・小を順に取り付けて行き、(1枚目~7枚目)左端に屋根板・大(8枚目のみ)を取付けます。この時[前]のマークの入っている方を前にします。
②隣同士の屋根板の角孔と上枠・後の角孔に屋根止結金具(2箇所)を通しボルトで仮止めします。上枠前・ODも同様に仮止めします。



注意 屋根止結金具の向きを確認して取付けてください。

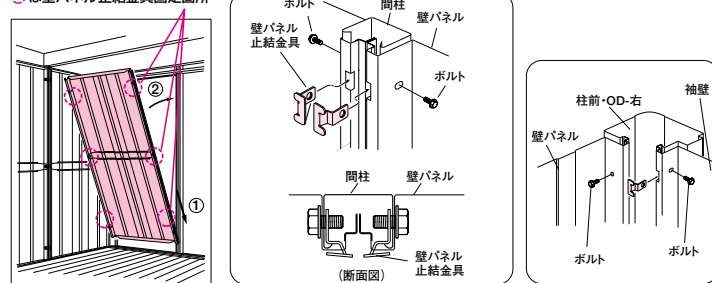


ボルト 24本

14 袖壁・壁パネルの取付け

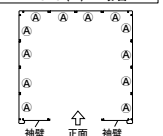
①室内から壁パネル(④壁・⑤壁の2種類があります)をはめ込みます。下を先に入れて、上をはめ込みます。
②上下中央の3ヶ所を壁パネル止結金具でボルト止めします。柱前と固定する側面の箇所は壁パネル止結金具は使いません。柱後部と袖壁を固定する箇所は壁パネル止結金具でボルト止めします。
③袖壁は壁パネルと同様に取付けます。

○は壁パネル止結金具固定箇所

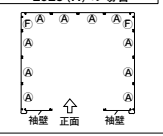


壁パネルの取付位置

2929(H)の場合



2925(H)の場合

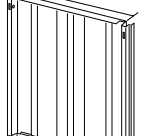


ボルト 84本

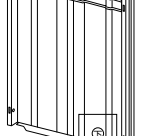
壁パネル止結金具 76コ

壁パネルの種類

670mm



319.5mm



670mm

壁パネルA

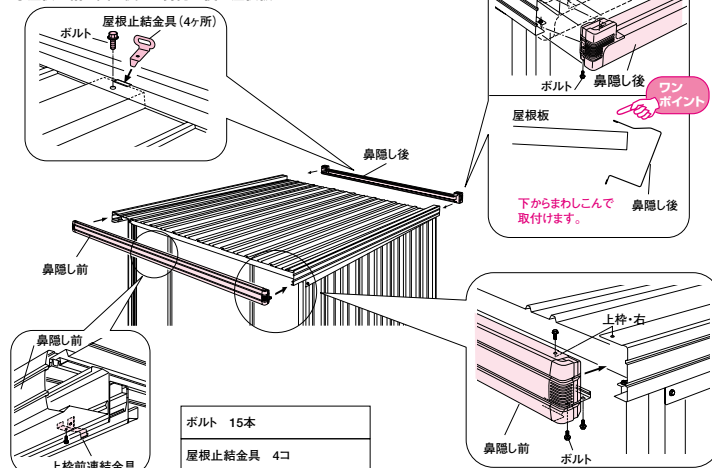
壁パネルF

袖壁A

15 鼻隠しの取付け

注意 オプションイを取付ける場合は、「オプションイセット」組立説明書先にお読みください。

①鼻隠し前の両端を上枠・右、上枠・左に差し込み、ボルト止めします。鼻隠しの中央を上枠前連結金具にボルトで固定します。
②鼻隠し後も同様に取付けます。
③屋根止結金具を使って鼻隠し後を屋根板にボルト止めします。

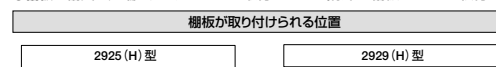


ボルト 15本

屋根止結金具 4コ

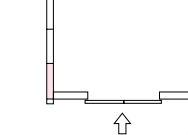
16 棚板の取付け

①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が4枚付いています。)

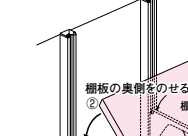


棚板が取り付けられる位置

2925(H)型



2929(H)型



棚受・N左

棚受・N右

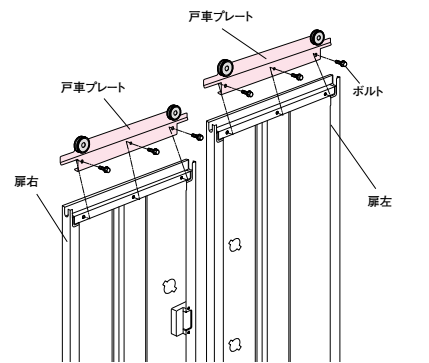
棚受・N左

棚受・N右

注意 壁パネルには棚受けは取付けできません。

17 戸車プレートの取付け

①戸車プレートを扉・右、扉・左に取付けます。

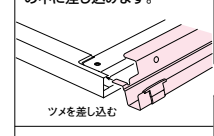


ボルト 6本

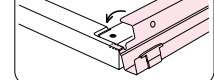
18 扉支持材の取付け

①扉支持材(OD)を扉・右・左にボルト止めします。

扉支持材(OD)の取付け方
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。



扉支持材を扉にがぶせる様に回転させます。

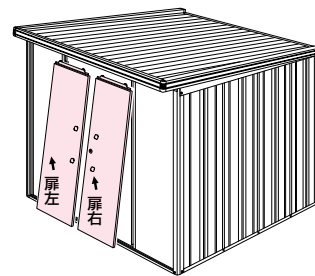


ボルト 6本

19 扉の吊り込み

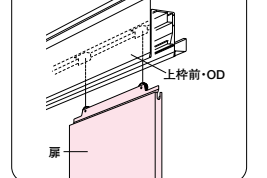
注意 扉を吊り込む際は下枠前ODの上面に砂埃が無いことを確認してください。

①戸車プレートを上レールに差し込みます。まだ戸車を上レールにはのせません。①
②扉支持材を下レールODに引っ掛けます。②
③戸車を上レールの角孔に合わせ、扉を真すくすく持ち上げ、扉支持材を下レールに引っ掛けながら戸車を上レールに落とし込みます。③



戸車を上レールの角孔に合わせて扉を吊り込みます。

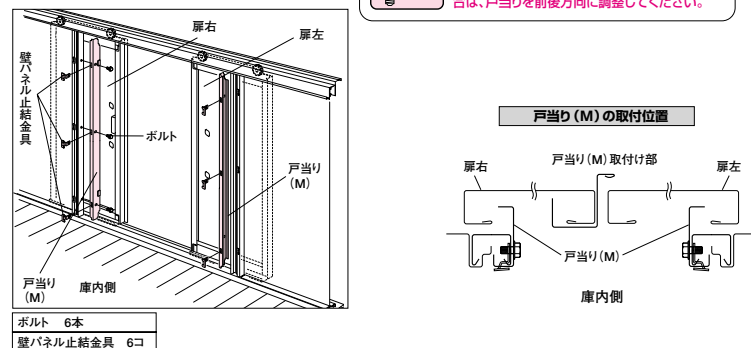
アルミレールの角孔に戸車をあわす



20 戸当り(M)の取付け

①扉右・扉左・袖壁を図のように重ねた状態で間柱前に戸当り(M)を開口側に壁パネル止結金具でボルトで取付けます。

注意 扉を開閉した時、戸当りと扉(補強)が当たる場合は、戸当りを前後方向に調整してください。



ボルト 6本

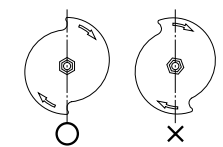
壁パネル止結金具 6コ

21 取手の取付け

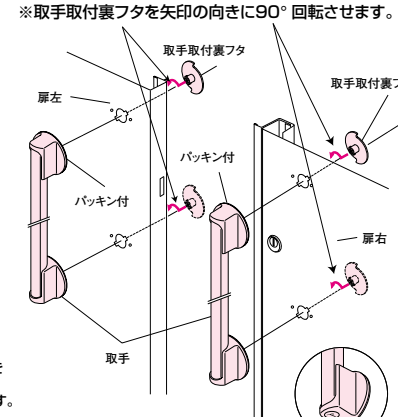
取手を扉・右・左に取付けます。扉を取手と取手取付裏フタで、挟み取手取付裏フタをT型スパナで90°回転させます。

※取手取付裏フタを矢印の向きに90°回転させます。

注意 取手には上下があるので向きに注意してください。端にミジがついている方を下に向けてください。



※取手取付裏フタを矢印の向きに90°回転させます。

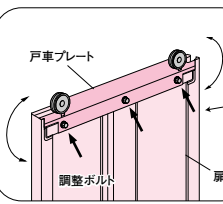
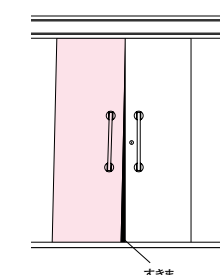


ミジが付いている方を下に向けてください。

22 扉の建付けの調整

①扉を開めた時図のように隙間ができるような場合や、隙間がなくても鍵のかかりにくい場合は、戸車プレートを固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめ、(扉1枚につき3本)調整します。

注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。扉の開閉が重い場合は工程⑥注意を参照してください。

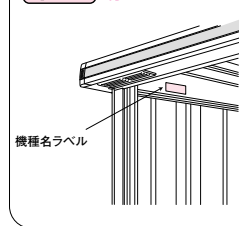


ゆるめて調整した後締め直します。

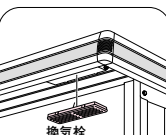
23 その他の部品取付け

①取扱説明書に同封の対応する機種名ラベルを上枠左に貼ります。

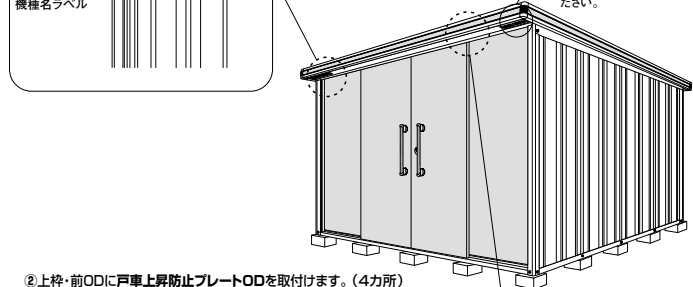
注意 機種名ラベルは必ず貼付けてください。



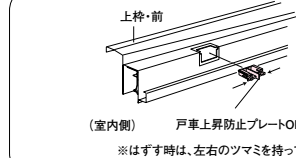
③換気栓(左右共通)をはめ込みます。



※換気栓には前後があります。製品の肉内にある刻印で確認してください。



②上枠・前ODに戸車上昇防止プレートODを取付けます。(4カ所)



注意 戸車上昇防止プレートは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉がはずれる原因になります。又扉を外すときは戸車上昇防止プレートODを必ず取り外してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡ください。

(2925(H)・2929(H))
3F3C
淀川製鋼
(2008.2月制作)

14 〈オープン部〉はり(一般型)の組立

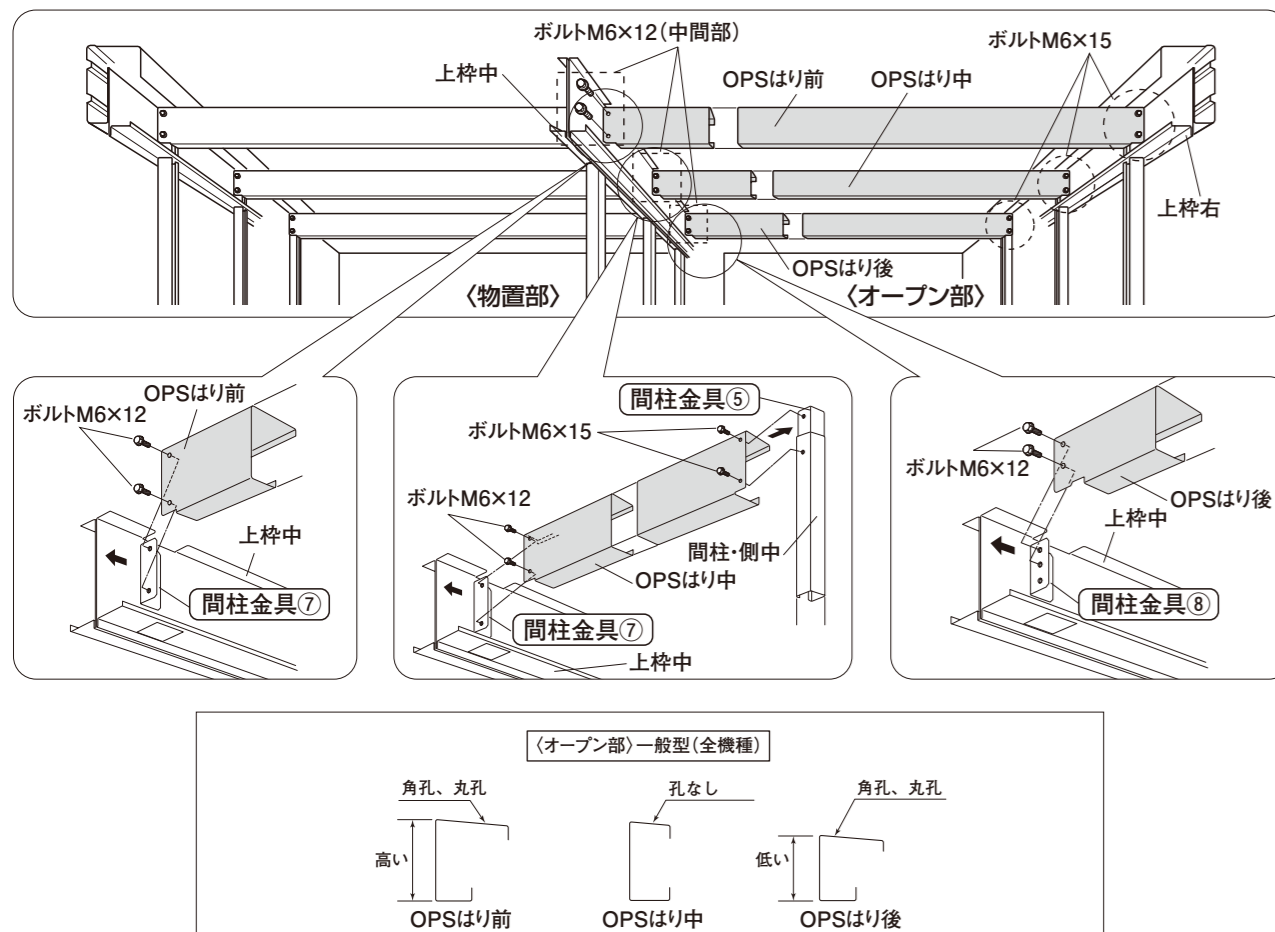
- OPSはり前の取付け
OPSはり前を間柱・側前および間柱金具⑦の上にのせてボルトで止めます。
- OPSはり中の取付け
OPSはり中を間柱・側中および間柱金具⑦の上にのせてボルトで止めます。
- OPSはり後の取付け
OPSはり後を間柱・側後および間柱金具⑧の上にのせてボルトで止めます。



ボルトは上枠左右の部分はM6×15、上枠中の部分はM6×12(部品箱の中にはり専用ボルトが袋詰めしてあります)を使用します。

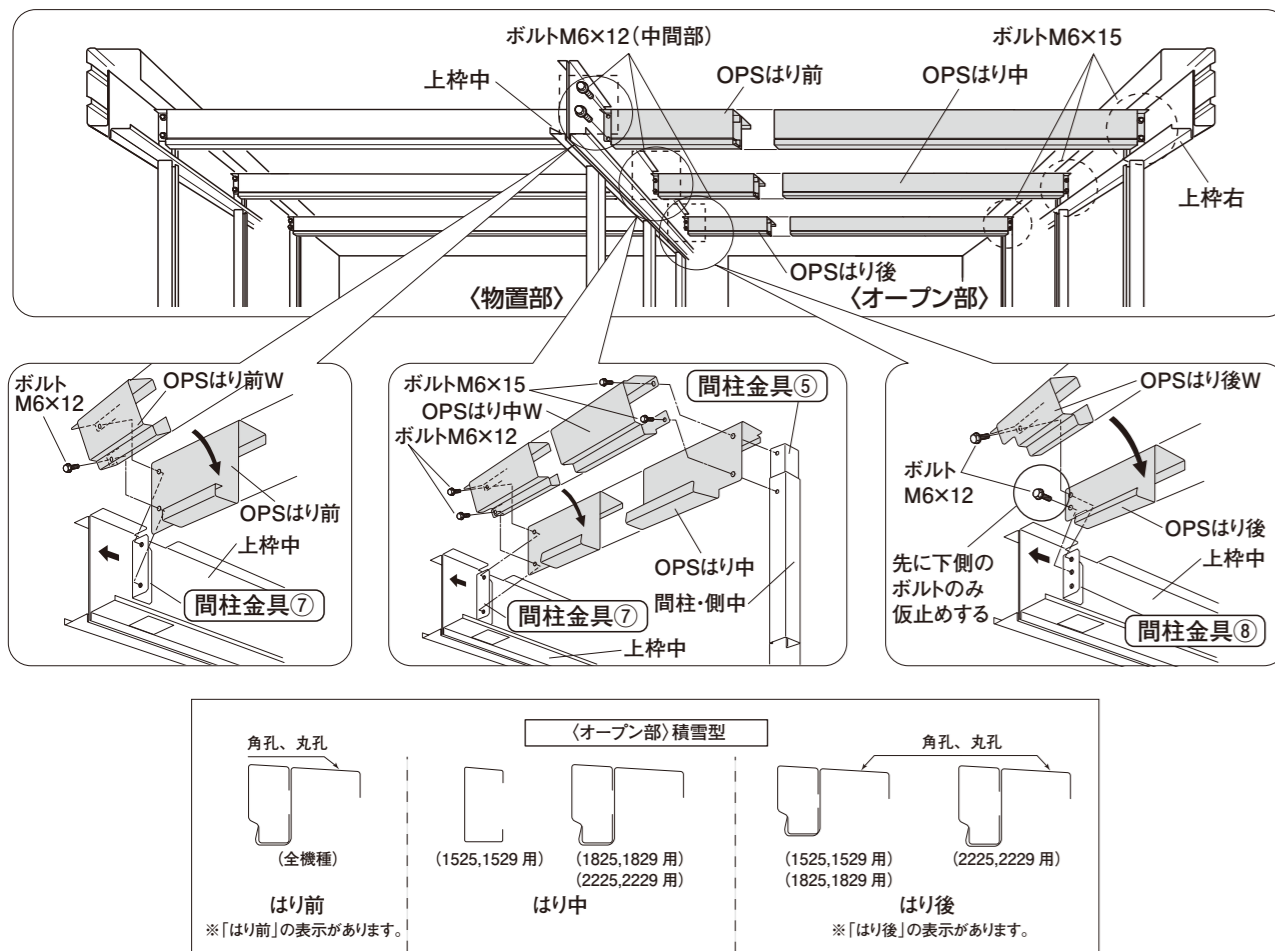


はりは、前と後の形状が異なりますので間違えないよう注意してください。(はり上面の印字を確認してください。)



〈オープン部〉はり(積雪型)の組立

- OPSはり前の取付け
OPSはり前を間柱・側前および間柱金具⑦の上にのせ、その手前にOPSはり前Wを落とし込み、2本同時にボルトで止めます。はりの向きに注意してください。
- OPSはり中の取付け
OPSはり中を間柱・側中および間柱金具⑦の上にのせ、その手前にOPSはり中Wを落とし込み、2本同時にボルトで止めます。15間口、18間口は一般型と同様に取付けます。
- OPSはり後の取付け
OPSはり後を間柱・側後および間柱金具⑧の上にのせ、下側のみボルトで仮止めし、その手前にOPSはり後Wを落とし込み、上側もボルトで止めます。



15 〈物置部〉はりの組立

エルモ組立説明書(はりの組立)の手順を参照し、はりを間柱金具に乗せて固定します。上枠中の部分にはボルトM6×12を使用します。

注意 〈オープン部〉が左側の場合、積雪型の角パイプ形状のはりをのせる時は、上枠中の切欠きの上から降ろすようにしてのせます。

16 〈物置部〉間柱前の組立

エルモ組立説明書(間柱前の組立)の手順を参照してください。

17 〈物置部〉上枠前連結金具の組立

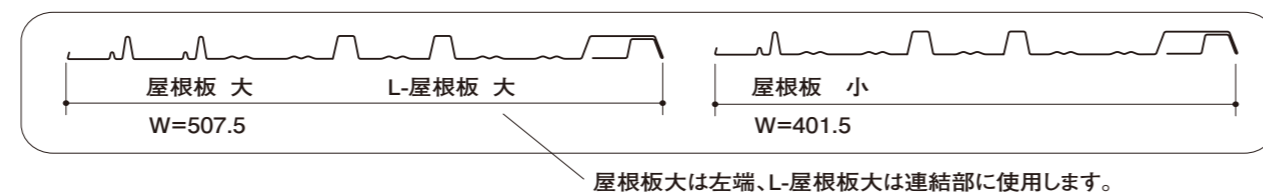
エルモ組立説明書(上枠前連結金具の組立)の手順を参照してください。物置間口2560mm以上の場合のみの工程です。

18 〈物置部〉上枠補強の組立

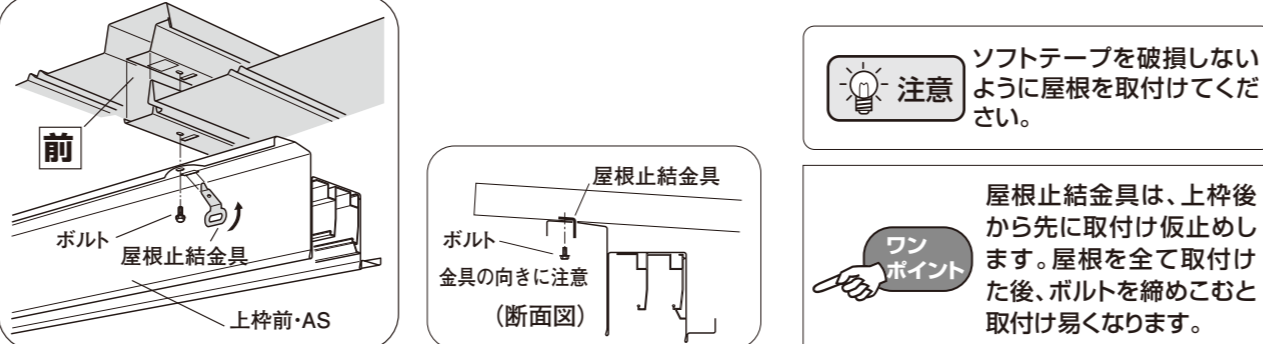
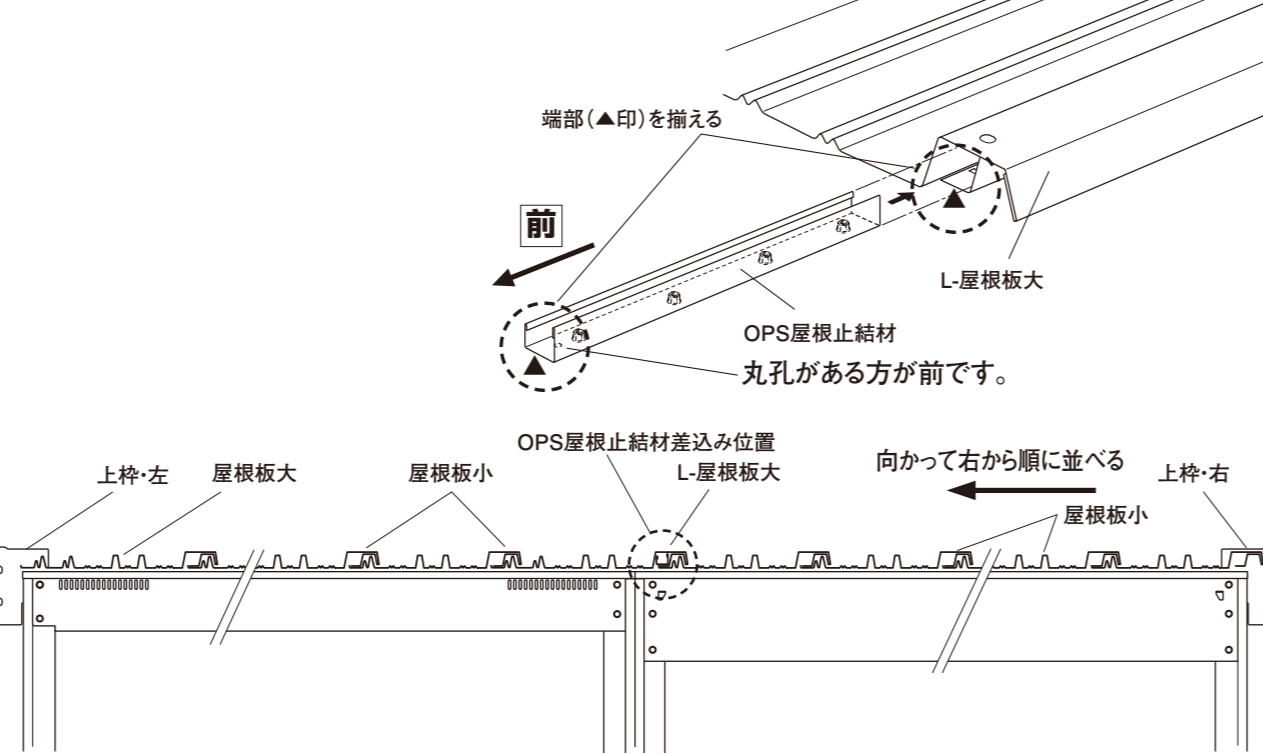
エルモ組立説明書(上枠補強)の手順を参照してください。物置間口2560mm以上、積雪・豪雪型の場合のみの工程です。

19 〈全体〉屋根板の取付

- 屋根止結材をL-大に差込みます。丸孔があいている方を前にして、屋根板の「前」表示を確認して差込みます。



- 屋根板は、正面に向かって右端から屋根板・小を順に取付けて行き、連結部にL-大がかかるように並べます。次は屋根板・小を取付け、左端に屋根板・大を取付けます。この時「前」のマークの入っている方を前にします。
- 隣同志の屋根板の角孔と上枠・後の角孔に屋根止結材を通しボルトで仮止めします。上枠前、はり前・後も同様に仮止めします。屋根止結材を差した所は、ボルトのみで止めます。屋根を全て取付けた後、締めこみます。



20 袖壁・壁パネルの取付け

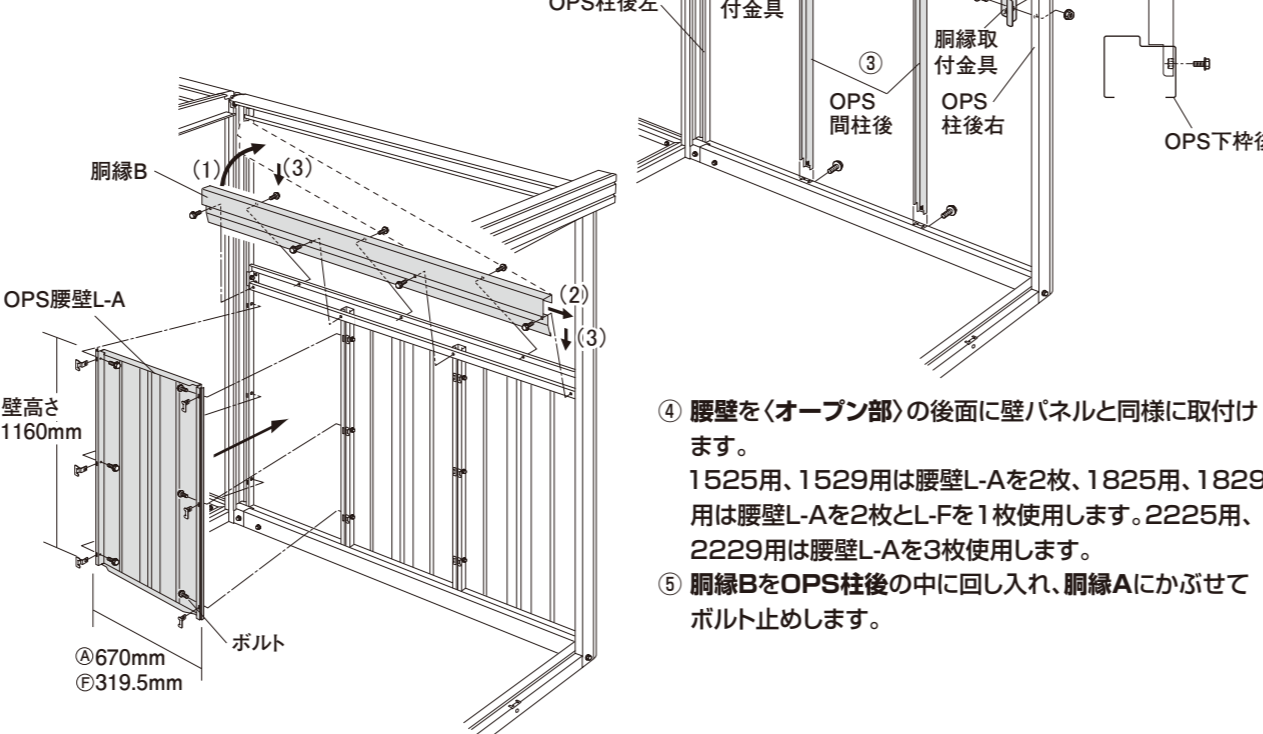
エルモ組立説明書(袖壁・壁パネルの取付け)の手順を参照し、袖壁・壁パネルを取付けます。なお連結部、〈オープン部〉側面は〈物置部〉側面を参考にしてください。

〈オープン部〉壁パネルの取付位置



21 〈オープン部〉胴縁の取付け

- 胴縁取付金具をOPS柱後右・左にボルト・ナットで取付けます。
- 胴縁Aを胴縁取付金具の上からひっかけ、ボルトで固定します。
- OPS間柱後(15間口:1本、18間口:2本、22間口:2本)の上側を胴縁Aの角孔に差し込み、次に下枠後に差し込み、上下をボルト止めします。



- 腰壁を〈オープン部〉の後面に壁パネルと同様に取付けます。1525用、1529用は腰壁L-Aを2枚、1825用、1829用は腰壁L-Aを2枚とL-Fを1枚使用します。2225用、2229用は腰壁L-Aを3枚使用します。
- 胴縁BをOPS柱後の中に回し入れ、胴縁Aにかぶせてボルト止めします。

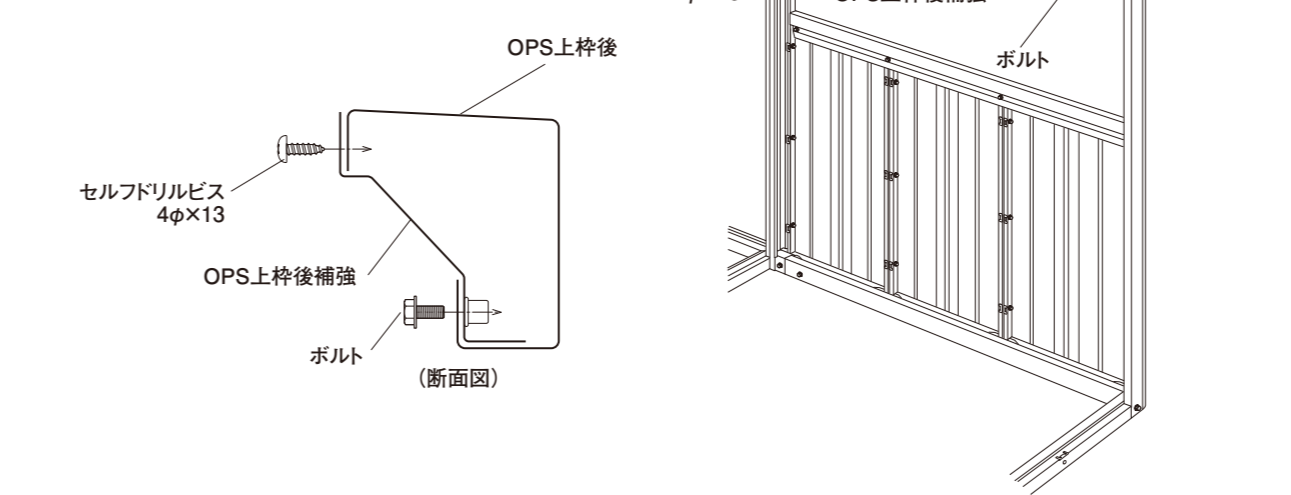
22 〈物置部〉柱補強金具の取付け

エルモ組立説明書(柱補強金具の取付け)の手順を参照してください。間口2213mm以下の場合のみの工程です。

23 〈オープン部〉上枠後補強の取付け(積雪型のみ)

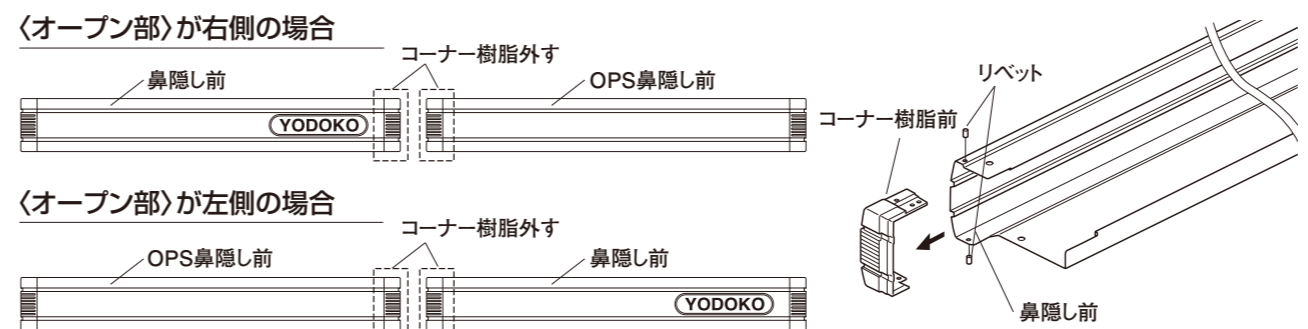
- 上枠後補強のヘキサート付の面をOPS上枠後に入れて4か所(15間口、18間口は3か所)ボルト止めします。
- 上枠後補強の上フランジの面をOPS上枠後にかぶせ、目印孔4か所(15間口、18間口は3か所)にセルフドリルビス4φ×13で固定します。

切粉は必ず除去してください。

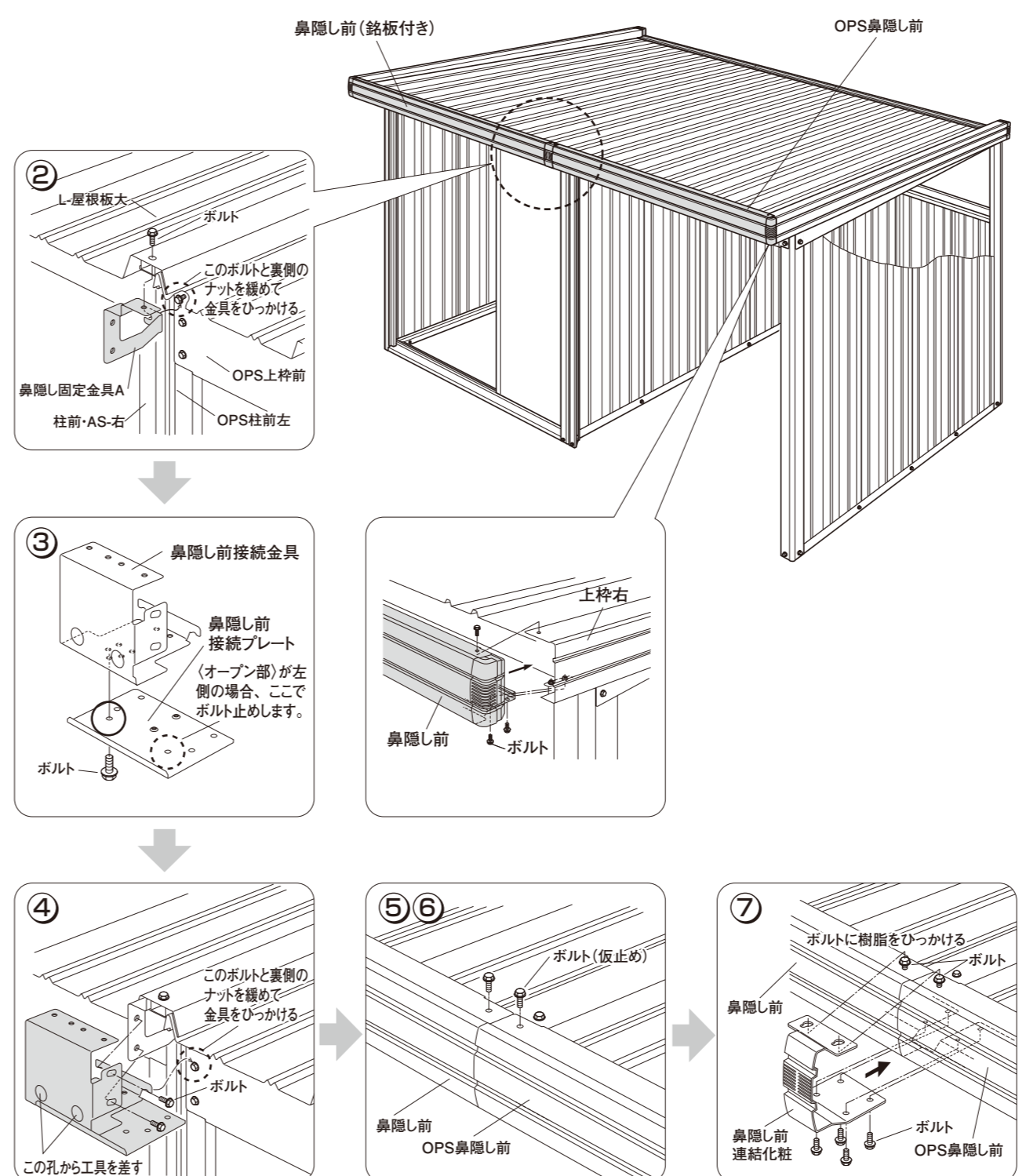


24 鼻隠し前の取付け

- 〈物置部〉用の銘板付の鼻隠し前を左に、もう1本を右に配置します。(〈オープン部〉が左側の場合は配置が逆になります。)連結部になる方の樹脂を外します。樹脂を止めているリベットをドリル(径3.5~4.0φ)で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。

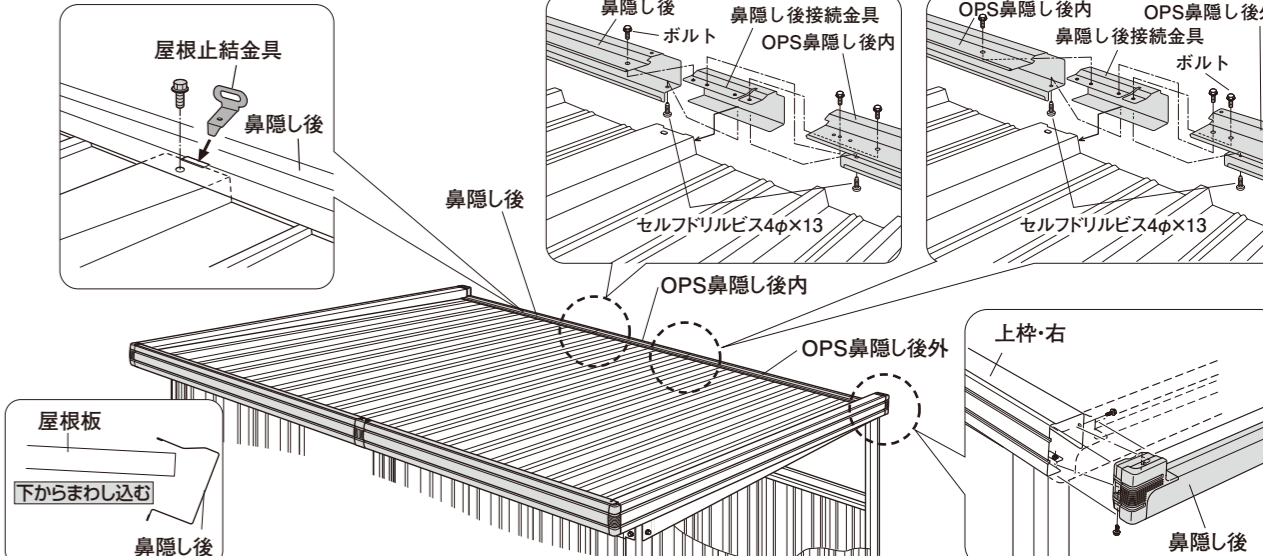
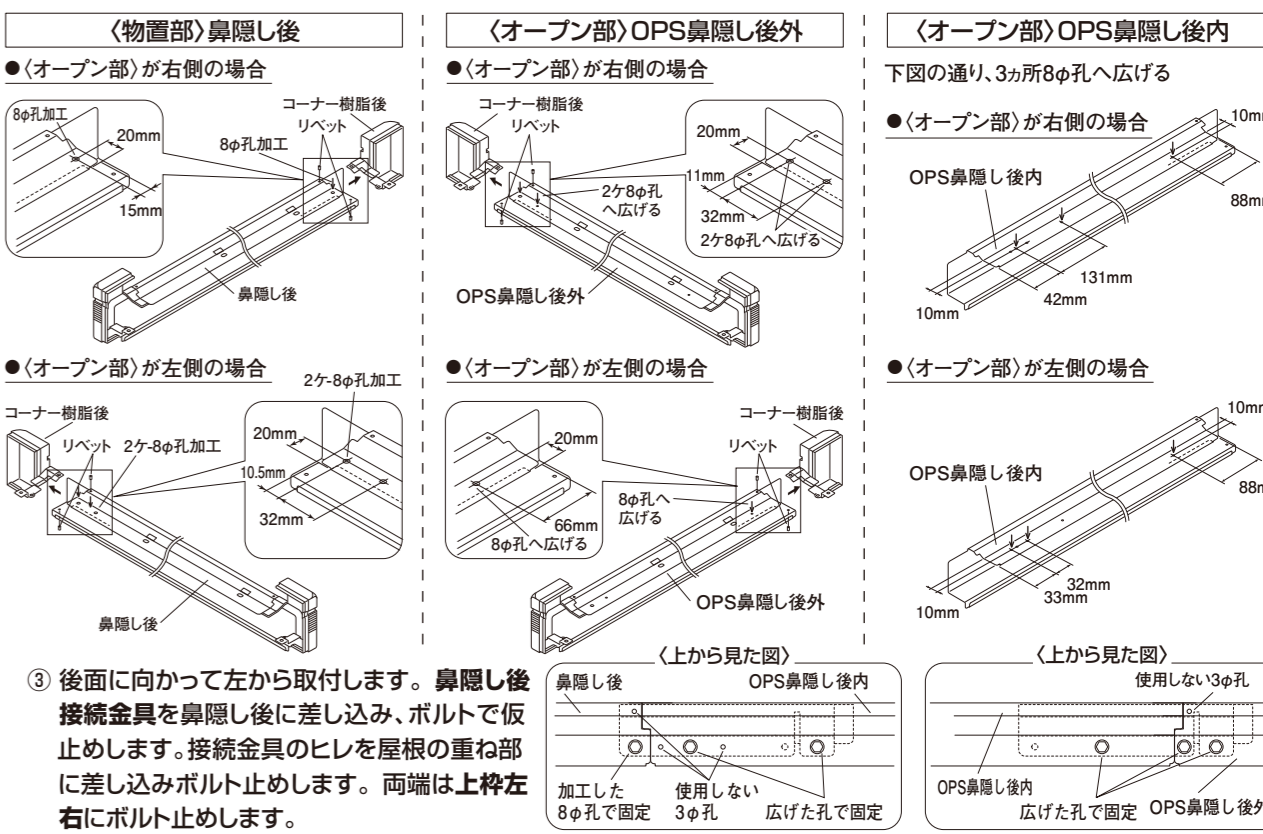


- 上枠前のボルトを緩め、鼻隠し固定金具Aのヒレを緩めたボルトにひっかけてボルトを締め直します。金具の上端と屋根板L-大もボルト止めします。
- 鼻隠し前接続プレート(積雪型)を鼻隠し前接続金具にボルト止めします。(〈オープン部〉の方へ張り出すように付けてください。)
- 上枠前のボルトを緩め、鼻隠し前接続金具の下端を緩めた上枠前のボルトにひっかけてボルトを締め直します。上枠前のボルトの締め直しが困難な場合は、接続金具の前面の孔よりボックスドライバー等で締め直してください。接続金具と鼻隠し固定金具Aもボルト止めします。
- 鼻隠し前を取付けます。接続金具とは上面のみボルトを仮止めしてください。
- 同様にOPS鼻隠し前を取付けます。
- 鼻隠し前連結樹脂を連結部の仮止めたボルトにひっかけ、上面・下面とも固定します。

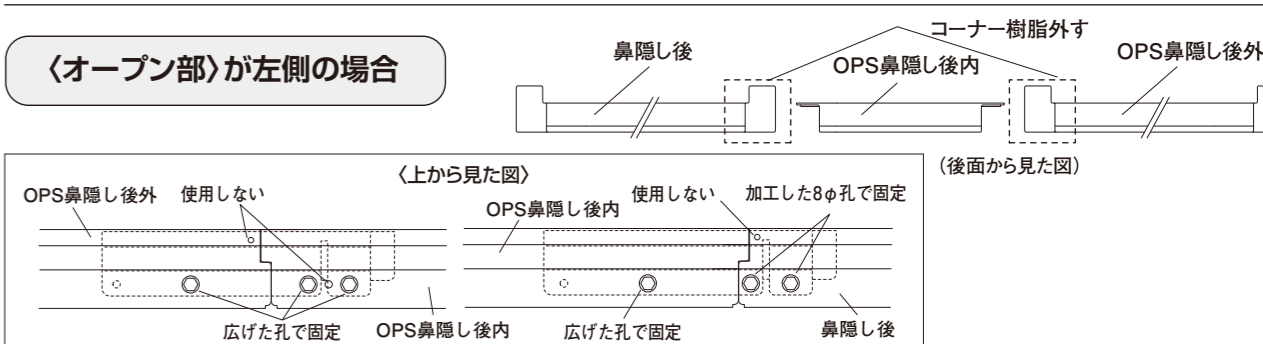


25 鼻隠し後の取付け

- 〈物置部〉の鼻隠し後と〈オープン部〉のOPS鼻隠し後外には両端に樹脂が付いています。OPS鼻隠し後内を合わせた3本を上図の様に配置し、連結部になる方の樹脂を外します。樹脂を止めているリベットをドリル(径3.5~4.0φ)で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。
- 3本の鼻隠し後の上面に孔加工します。〈物置部〉の鼻隠し後には下図を参考に新たに8φ孔を明け、〈オープン部〉の鼻隠し後外・内には下図を参考に3φの下孔を8φに広げます。(〈オープン部〉の配置により使用する3φの下孔が異なりますので注意してください。)



- 鼻隠し後と屋根板の上面を屋根止結材金具でボルト止めします。鼻隠し後内には部品共通化のため使用しない孔があいています。
- 鼻隠し後の下面は目印孔の位置でセルフドリルビス4φ×13で固定します。



26 〈物置部〉棚板の取付け(オプション)

エルモ組立説明書(棚板の取付け)の手順を参照してください。※オープンスペース部は専用棚(オプション)を取り付けてください。

27 〈物置部〉扉の取付け

エルモ組立説明書(扉の取付け)の手順を参照してください。

28 〈物置部〉その他

- エルモ組立説明書(その他の部品取付け)の手順を参照してください。
- コンビ機種名ラベルをエルモ機種名ラベルの右に貼ります。
- 孔フサギシールを上枠中の四角の孔に貼ります。シールは4枚1纏りになっており、シールの細い方に折りくせをつけてからはがして使用します。
- 間仕切り部にオプション引戸を取り付けない場合は上枠中の丸孔をボルトM6×15とフランジナットM6でふさいでください。
- 最後にボルトのゆるみがないか確認して完了です。



この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

エルモコンビ
1525(H)・1529(H)
1825(H)・1829(H)
2225(H)・2229(H)

ヨドコ
淀川製鋼
(2012年8月制作)